

飯島ROTOBO会長とラフモン・タジキスタン大統領との面談

日 時：2025年12月19日（金） 10:20～10:50

場 所：帝国ホテル東京

タジキスタン側参加者：

- 1) エモマリ・ラフモン大統領
- 2) アブドゥラフモン・アブドゥラフモンゾダ経済発展貿易大臣
- 3) アジム・イブロヒム運輸大臣
- 4) シェラリ・カビル産業・新技術大臣
- 5) スルトン・ラヒムゾダ投資・国有財産管理国家委員会議長
- 6) フアルホド・サリム駐日特命全権大使

ROTOBO 側参加者：

- 1) 飯島彰己 一般社団法人 ROTOBO 会長/三井物産（株）顧問
- 2) 古田恵子 駐タジキスタン日本国特命全権大使
- 3) 中居孝文 一般社団法人 ROTOBO ロシア NIS 経済研究所所長
- 4) 榎田紀雄 三井物産（株）経営企画部グローバル業務室次長
- 5) 中馬瑞貴 一般社団法人 ROTOBO ロシア NIS 経済研究所主任

面談概要：

【ラフモン大統領（以下、大統領）発言】

- ・ ROTOBO は日本とタジキスタンの経済関係拡大と貿易関係強化のための重要なメカニズムであり、両国ビジネス界の関係発展を推進する組織であると理解している。
- ・ タジキスタンは ROTOBO とのさらなる関係の発展に非常に関心を持っている。

【飯島会長（以下、会長）発言】

- ・ (ROTOBO について紹介し) 首脳会合と並行して開催される「中央アジア+日本」ビジネスフォーラムについて、経済産業省とともに、メインオーガナイザーを務めている。
- ・ 日本とタジキスタンの民間企業間の連携と交流の強化、両国間の貿易・投資の促進を目的として、2021年8月に設置された「日本タジキスタン投資環境整備ネットワーク」の日本側事務局を ROTOBO が務めており、ネットワークの活動の一環として、2024年5月に、タジキスタン共和国投資・国有資産管理国家委員会と共に、オンライン・ビジネスフォーラム「日本とタジキスタンの投資協力」を開催。グリーンエコノミー分野における両国の協力可能性について意見交換を行った。
- ・ また、ネットワークでは、専用のウェブサイトを開設し、タジキスタンから提供される資料やイベント情報を掲載することで、タジキスタンに関心を有する日本企業が、必要な情報にいつでもアクセスできる環境を整えている。

- ・ネットワークを通じた両国の連携を一層緊密化し、まずは情報交流の強化を通じて、日本企業にタジキスタンの魅力と可能性を広く伝えていくことに重点的に取り組んでいく

【大統領発言】

- ・タジキスタンは独自の資源、有利な地理的条件、そして大きな人的ポテンシャルを有しており、物流・生産チェーンの発展にとって有望な立地になっている。
- ・農産物加工、繊維産業の拡大、銀行業、人工知能（AI）、医薬品といった分野における機会の活用に重点を置いている。
- ・また、グリーン・エネルギー分野も有望で、特にタジキスタンは国内の電力の98%を水力発電による「グリーンな電力」が担っている。小規模水力発電所、太陽光発電所、風力発電所の建設、既存エネルギー施設の近代化、そしてグリーン分野における合弁事業の設立などにぜひ日本企業に参加してほしい。
- ・物流センターの創設にも関心がある。
- ・果物、ブドウ、豆類、薬用植物といった環境に優しい農産物の栽培も共同開発などを通じて協力拡大に努めてほしい。

【会長発言】

- ・日本企業はレアメタルやレアアースを含む重要鉱物資源に関心がある

【大統領発言】

- ・クリティカル・マテリアルについては、米国など複数の国に輸出している。
- ・例えば、アンチモンは中国に次いで世界第2位の埋蔵量を誇る。レアアースなども含め生産まで行っているが、投資・技術における協力が必要であり、これは両国の互恵的な利益となる
- ・タジキスタンは安価な労働力が豊富である。今は約100万人がロシアで労働移民として働いているが、この分野でも協力の可能性はあると考える。

【会長発言】

- ・こうしたタジキスタンの魅力について、もっと理解してもらうことが必要だと考える。

【大統領発言】

- ・ぜひ、多くの日本企業にタジキスタンに来てもらいたい。
- ・例えば米国企業は頻繁にタジキスタンを訪問している。
- ・タジキスタンでは100以上の国家間プロジェクトが行われており、エネルギー、AI、輸送・運輸など多岐の分野にわたっている。
- ・今年1年間で400以上の企業が新しく創設された。

- ・タジキスタンには石油とガスがほとんどないが、それ以外の資源は何でもある。
- ・最近では中国からタジキスタンへの電気自動車の輸出が増えており、昨年は4万6,000台を輸入した。自動車大国である日本製の電気自動車がタジキスタンで走っていないのはなぜなのか。タジキスタンで生産を行うのはどうだろうか？今のところこの分野の進出は中国とロシアのみであるが、タジキスタンとしては、どんな国とも協力していきたい。

【会長発言】

- ・ROTOBO では2～3年に一度、日本企業が参加する会長ミッションを行っており、ウズベキスタンとキルギスを訪問したことがある。経済関係を深める上で、実際に見るといいうのは重要なことである。

【大統領発言】

- ・なぜ、タジキスタンには来なかったのか？
- ・タジキスタンのドライフルーツも日本が輸入しているが非常に少量である。
- ・タジキスタン産のはちみつは高山で取れるはちみつで、薬用としても有益である。日本はオーガニックに関心の強い国だと聞いているので、関心を持ってもらえるのではないか。
- ・桜やブドウなど、日本の植物を持ち帰り、タジキスタンで育てられるとよいと思う。



以上